

個人質問通告表

令和8年第2回始良市議会定例会（7月8日）

【個人質問】	12. 原口 洋明	
1. 管理が不十分な空き家、空き地等の解消に向けての取組について	本市では、先の国勢調査においても人口増加の傾向が見られる。一方、少子高齢化や人口移動に伴い、全国的に空き家問題が深刻化している。本市においても、適切な管理が行われていない空き家等は、防災、防犯、景観の悪化、さらには周辺住民の生活環境に多大な悪影響を及ぼす懸念がある。 こうした中、改正空家等対策の推進に関する特別措置法が令和5年12月13日施行され、従来の特定空家の一步手前の段階である管理不全空家等に対し、自治体が指導・勧告を行い、勧告に従わない場合は固定資産税の優遇措置を解除（更地と同等の課税）できるようになった。 そこで、以下の内容を問う。 （1）本市の管理不全空家等、特定空家等又はそれらに準ずる状況の土地建物の把握状況を明らかにし、市の危機感を問う。 （2）本市の第3次始良市空家等対策計画に基づいた初期対応の実数や状況を踏まえ、市の現状認識を問う。 （3）始良市空家等庁内対策連絡会において管理不全空家等の当否及び措置の要否について検討することになっているが、その判断基準を示せ。 （4）所有者に改善を促したにも関わらず、何ら事態の改善が図られない場合の対応を示せ。 現に空き家等が周辺の公益性を著しく害している、もしくはその恐れがある場合や周辺の生活環境への悪影響、危険度の切迫性が看過できない場合等の対応を問う。 （5）空家等管理活用支援法人の指定や条例を制定する考えはあるか示せ。 現状、対応が進んでいないケースの改善を図るための取組や施策について、具体的な解決策等がないか市の考えを問う。	市長

2. 始良市ふるさと移住定住促進補助金について	本市では、中山間地域の活性化と均衡ある発展を目指し、住宅取得や家賃、子ども補助金など、手厚い支援措置を講じている。令和8年4月からは新たな対象期間がスタートし、西始良小校区が追加され、さらなる展開が期待されている。しかし、移住促進事業は、単に移住者の頭数や補助金執行額だけで成功を評価すべきではない。投じた税金に対して、実際にどれだけ地域に活力が生まれ、定住に結びついているかという効果の検証が不可欠である。 そこで、以下の内容を問う。 (1) これまでの本事業による移住実績（件数・人数）および各対象地域への人口分散効果及び市がこの事業の成果をどのように評価しているか問う。 (2) 始良市ふるさと移住定住促進補助金返還金の発生件数を示せ。 (3) 現場での地域コミュニティへの適応へのソフト面でのフォロー体制について説明せよ。	市長 教育長
【個人質問】 13. 末吉 孝行		
1. 市民が健康で地域とつながりながら、自分らしく暮らし続けられるまちづくりについて	(1) 子どもの口腔健康の向上について ① 始良市における学齢期のむし歯の現状と課題認識について問う。 ② フッ化物洗口の効果に対する市の認識について問う。 ③ 小・中学校でフッ化物洗口を実施していない理由について問う。 ④ 近隣自治体におけるフッ化物洗口の実施状況や運営方法に関する調査研究及び情報交換の状況について問う。 ⑤ 今後の口腔保健施策の方向性について問う。 (2) 加齢性難聴への対応について ① 加齢性難聴に対する市の課題認識について問う。 ② 加齢性難聴に関する相談、困りごとの把握状況及び実態調査の状況について問う。 ③ 社会参加や地域とのつながりの観点からの加齢性難聴対策に対する市の見解について問う。 ④ 令和9年度から開始される第10期介護保険事業計画における聞こえに関する課題及び支援の位置付けについて問う。 ⑤ 今後の実態把握及び普及啓発の取組について問う。	市長 教育長

	(3) 介護人材不足対策と「いきいきサポーターえーど」の活用について ①始良市における介護人材不足の現状及び課題認識について問う。 ②介護人材不足に対する現在の取組について問う。 ③「いきいきサポーターえーど」の事業目的及び役割について問う。 ④登録者数や活動状況を踏まえた事業の成果及び課題、成果指標等について問う。 ⑤今後の介護人材確保対策における「いきいきサポーターえーど」の活用方針について問う。	
【個人質問】 14. 有川 洋美		
1. 身寄りのない高齢者や単身高齢者への支援について	頼れる親族ら身寄りのない高齢者の支援を強化する社会福祉法などの改正法が、2026年6月19日に、参議院の本会議で可決、成立した。各地の社会福祉協議会などが日常生活や入退院、死後の手続きを包括的に支援する仕組みを法制化し、十分な資金がない人は無料や定額で利用できるようにするというものである。厚生労働省は2028年6月までの開始を目指している。 そこで、以下を問う。 (1) 身寄りのない高齢者や単身高齢者について、市はどのように把握しているか。 (2) 市及び社会福祉協議会が実施している、身寄りのない高齢者や単身高齢者への生活支援、終活支援及び死後事務に関する支援事業を示せ。 (3) 相談体制を問う。 (4) 関係機関との連携はどのようにになっているか。 (5) 国の制度改正をどのように把握し、今後どのような対応を考えているのか。	市 長
2. 令和7年8月豪雨災害で被災した民間アパート避難者への支援について	令和7年第4回定例会一般質問において、豪雨災害で被災した民間アパート等に避難された方々への支援について質問した。市は「内閣府と協議を進めているところである」と答弁した。 そこで、以下を問う。 (1) 民間アパート等へ避難した世帯数を把握するための取	市 長

3. 本庁2号館横の市営駐車場について	組を行ったのか。 (2) 国及び県との協議の進捗状況を示せ。 (3) 国及び県との協議において、市はどのような要望を行い、国及び県はどのような見解を示しているのか。 本庁2号館横の市営駐車場は、今年度から有料化された。無料であった当時は、時間帯によっては満車となることが多く、市役所利用者が利用しづらい状況も見られたことから、有料化が実施されたものと認識している。有料化後は、満車になることはほとんどなくなっているようである。 現在、土日も含めて有料化しているが、土日利用に限って無償化する考えはないか。	市 長
【個人質問】 15. 桃木野 幸一		
1. 台湾・台中市東区との交流促進について	今回、台湾・台中市東区との交流促進を目的として、表敬訪問や現地視察を実施するための予算が計上されている。そこで市長に伺う。 台湾・台中市東区との交流について、市長は今後どのようなビジョンを持ち、本市のまちづくりや地域活性化にどのようにつなげていく考えか。	市 長
2. 山野踏切道路・山野踏切の拡幅について	旧国道10号線から山野地域への出入りは、傾斜のある山野踏切の市道が利用されているが、傾斜がある上に狭い道路であり、出入りは、お互いに譲り合いで行われている。また、平成24年に、始良カルデラを含めた霧島錦江湾国立公園が誕生したこともあり、観光客にとっても道路の狭さが不便を来す要因となっている。 平成27年には、始良市議会に山野踏切の拡幅を求める請願書が出され、採択されている。 現在、隣地が空地となっていることから、この土地を購入して道路の拡幅をすべきではないか。また、JRとも協議して踏切の拡幅もすべきと思うが考えを示せ。	市 長
3. 所信表明について	市長は、豊かな自然と歴史、人の温かさに恵まれた始良市を、更に誇れるまちへと育て、次の世代へ引き継いでいく。その強い覚悟を、今新たにしていると述べられている。 (1) 更に誇れるまちへとは、どのようなまちをいうのか。	市 長

	(2) 市長はこれまで地域を歩き、市民との対話を重視してきたと述べられている。だからこそ、最も大切にしたいのは「対話」とされている。今後もこのような対話を計画的にされるつもりか考えを示せ。 (3) また、前市長は加治木支所や蒲生支所へ日を決めて出かけ、市民との対話を計画的にされていたことから市民も喜んでおられ、市長に直接要望などされていたところである。このようなやり方を今後されるつもりがあるか考えを示せ。 (4) 今年度は、2019年度から始まった第2次総合計画の最終年度である。その後期基本計画の中で雇用の創出と企業誘致の推進では、2026年度目標において誘致企業雇用者数1,100人(累計)、立地協定締結件数49件(累計)、商業・工業従事者数10,330人とある。この3点について、3月末の状況を示せ。 (5) 今回補正予算において、重富校区コミュニティ協議会の地区内にある井戸を災害時に提供してもらうための管理費が13万2,000円計上されている。8月の豪雨災害では生活用水の確保が困難であった。重富地区は、井戸が何か所あるのか示せ。また、市内を全体的に調査して今後に備えることが必要と思うが考えを示せ。 (6) 煮しめグランプリが過去5回開催され、参加者も増え好評と聞いているところである。地域への広がりはどうなっているのか示せ。	
4. 案内看板の設置について	市内にどこから来られても、ここが始良市だと印象づけられるような看板がないと思うところである。正に人口も増え、他市との境界付近に何か所か看板を設置して、「ここからが始良市です」と認識してもらい、歓迎するような雰囲気を醸し出すことが大事ではないかと思う。例えば、くも合戦や太鼓踊り、あるいは名所・旧跡を取り入れたものなど様々な組み合わせができるかと思う。 主要な幹線道路の他市との境界付近に上記のような看板を設置する考えはないか。	市 長
5. 龍門滝温泉について	昨年8月の豪雨災害で龍門滝温泉は大きな被害を受け、市において被害調査が行われている。これまで、市民の方々の日々の疲れを癒してくれた憩いの場でもある。そこで以下について問う。	市 長

	(1) 被害状況を示せ。 (2) 築何年になるのか。 (3) 過去3年の利用状況と指定管理料を示せ。 (4) 市民の方々からの要望等は寄せられているか示せ。 (5) 今後は改修になるのか、場所の移転も含め、建て替えになるのか方針を示せ。 (6) 建て替えの場合、激甚災害であったので交付金の有無を示せ。	
【個人質問】 16. 森川 和美		
1. 重富漁港の沖防波堤について	第1種重富漁港の入口には、高波を防ぐ沖防波堤が無いため、南風が強い時には港が荒れて漁船に乗り降りすることもできない。 台風や春一番等の風が強いときには、漁船を陸に揚げて避難させているのが現状である。しかし、陸に揚げる場合は、満潮時にしかできず、急に天候が悪化した時など陸揚げが出来ないこともあり、毎回避難出来なかった漁船に被害が出ている。 昨年も3隻被害があり、私の調べた範囲では、県内でも沖防波堤が未整備で危険性が高い漁港は、重富漁港だけであると考える。そこで、漁港の改修を計画した時点では、沖防波堤の計画は当然あったと思われるが、なぜ、いまだに設置されていないのか。また、これから設置するとすれば該当する補助事業はあるのか、概算の事業費と補助割合、市の持ち出しはどの程度か示せ。	市 長
2. 重富漁港の係留船について	現在、重富漁港には、始良市在住の漁業組合員の漁船32隻が市の許可を受けて漁船係留施設に係留している。 そのほかに漁港の沖側の係留施設でない場所に漁船ではないプレジャーボートが十数隻、乗り降り用の構造物を設置し係留しているが、市は所有者にプレジャーボートの係留や構造物設置の許可を出しているのか。係留しているプレジャーボートの数、船の所有者の住所地、許可の期間、漁港に漁船以外の船に係留している理由、陸上保管の場所に無動力のヨット等が許可されている理由を示せ。	市 長

3. 重富漁港入口に堆積した砂の撤去について	漁港の入口に砂が堆積し、入口の半分近くを塞いでいるため、漁船の出入りに支障をきたしている。 昨年は堆積した砂に1隻乗り上げエンジンを破損させており、早急な浚渫が必要である。今も砂が堆積し続けており、航路が一層狭くなり、危険が増すばかりの状態である。 現状を確認しているか。確認していれば、工事はいつ頃か。また、前回浚渫した年度と工事費も併せて示せ。	市 長
4. 一医療法人への建替え補助、支援について	本市の一医療法人が建物の老朽化や医療機器の進化、法規制などの基準変更に伴う対応のため、現在、建替えに着手している。 この法人は、開院して100年目を迎え、医療分野において、これまで本市に多大な貢献をしてきており、二次救急医療機関としても長年地域医療体制の維持に取り組んできた法人である。 現下の物価高騰を含む経済状況の変化により施設整備に対して医療機関等に対する支援は、地域医療構想の推進や、救急医療体制の確保等を図る観点から問題はないと考えるが見解を伺う。 県内では、大崎町や志布志市で診療所の開設や、医師確保を目的とした最大1億円から2億円規模の補助金支援制度を独自に設けている。 また、同様の支援策が全国の自治体でも実施されている。	市 長
5. 防災対策について	大雨や台風など、よく災害に対して「命を守る行動を」「家の中でもできるだけ高いところへ」などと言われている。しかし、要介護者の日常生活動作を見ると、50m以上歩けない人、階段を昇降できない人、また、高齢単身世帯は20年前に比べて約3倍、障がい者は約60%増、難病患者は約3.24倍と災害に弱い人々が増えていると専門家は述べている。本市の状況と災害弱者対策は今後どのように計画を進めていくのか。	市 長